様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月 20日

宇都宮市長　佐藤　栄一　様

排出事業者
住　所　栃木県宇都宮市白沢町592
氏　名　王子マテリア株式会社　日光工場
工場長　　宮本　健太郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　　028(661)1011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	王子マテリア株式会社　日光工場
事業場の所在地	宇都宮市白沢町592
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	板紙製造業 [1422]
②事業の規模	製造品出荷額 152 億円/年
③従業員数	106名
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙. 1のとおり

(日本工業規格　A列4番)

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙2のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
排出量　別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
別紙4のとおり</td></tr>
</table>

（第3面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙4のとおり</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり　t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙4のとおり		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり　t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
		全委託処理量	別紙3のとおり　t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり　t	t
		再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり　t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり　t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり　t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙4のとおり		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙3のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>全委託処理量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙3のとおり　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
別紙4のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」欄は、以下に従って記入すること。

(1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)　②欄には、製造業場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療関係の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が完了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

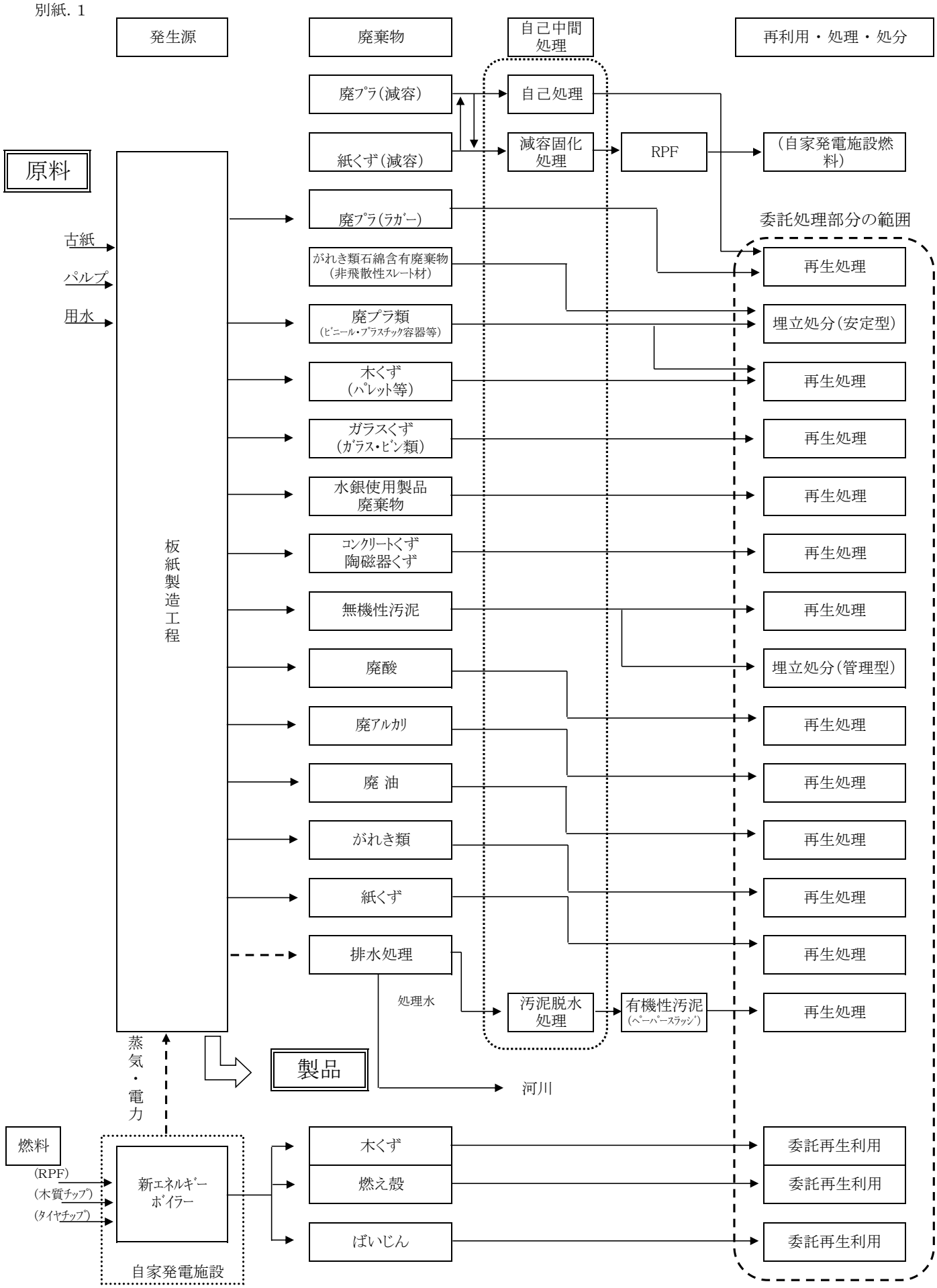
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組みを記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に、「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙．1



廃棄物処理フロー図(現状)

別紙．２

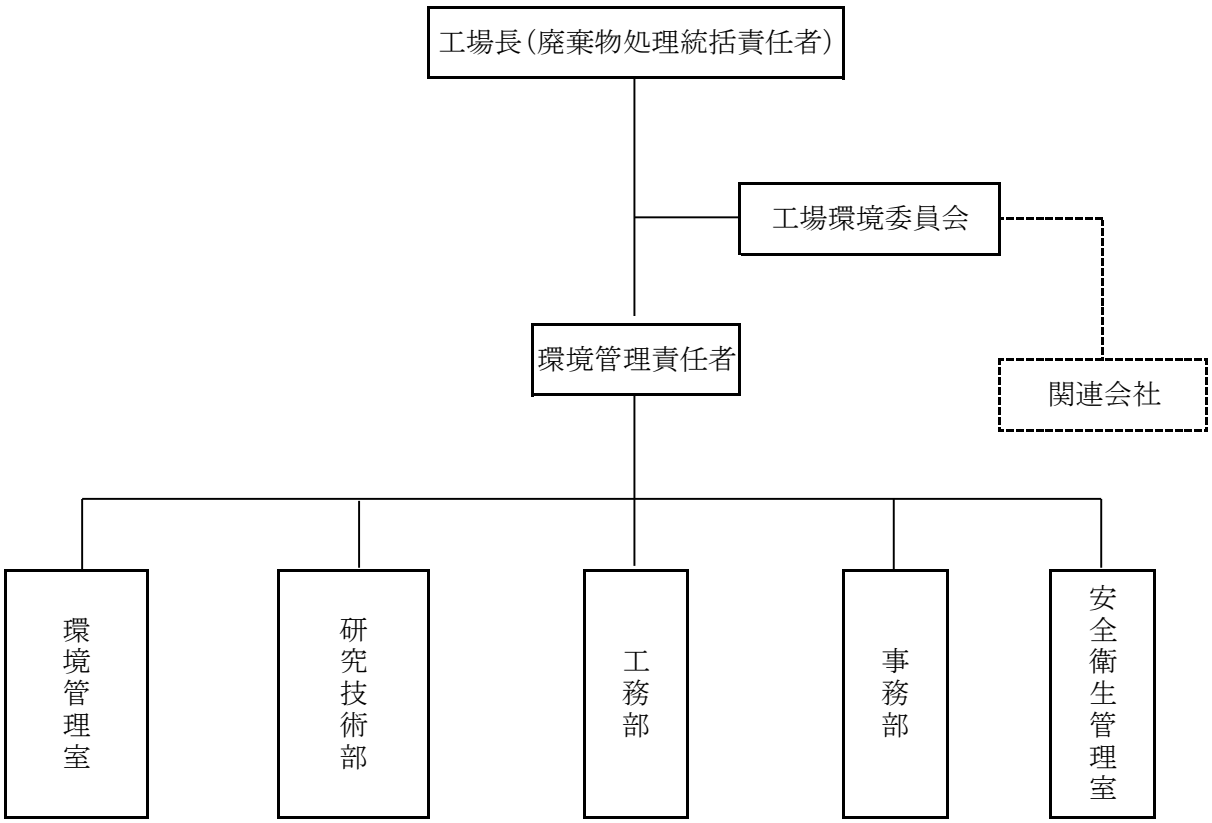
産業廃棄物に係る管理体制に関する事項

（1） 責任者及び管理組織図

統括責任者		所　　属 ： 日光工場　　職 名 ： 工場長
廃棄物担当		担 当 名： 環境管理室　　職 名 ： 室　長 担当人数 ： 3人
	工場環境委員会	○　産業廃棄物に関する検討 廃棄物の発生制御、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な管理運営を行う上で必要事項を検討する。 ・ 委員長 ： 工場長　　委員 ： 関連部課長 ・ 事務局 ： 環境管理室
	廃棄物処理統括責任者	○　廃棄物処理方針の策定 ○　廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	環境管理室	○　廃棄物処理計画の作成 ○　廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○　廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○　委託契約の締結 ○　処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○　監督官庁への各種報告 ○　社員、関連会社に対する教育・啓発 ○　その他関係する事項

廃 棄 物 管 理 組 織

日 光 工 場



別紙3-1

令和6年度実績値及び令和7年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	ばいじん（ばいじん付着断熱材）		ばいじん		燃え殻	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	1.3	2.0	5,612	5,834	479	504
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	1.3	2.0	5,612	5,834	479	504
優良認定処理業者への処理委託量	1.3	2.0	4,556	4,144	461	504
再生利用業者への処理委託量	0	0	1,056	1,690	18	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	有機性汚泥（ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ）		紙くず		廃ﾌﾟﾗ（自工場減容　ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕）	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	675	675	458	20	3526	3526
自己再生利用量	0	0	0	0	3526	3526
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	630	630	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	45	45	458	20	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	313	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	45	45	145	20	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙3-2

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	紙くず（自工場減容　ｽｸﾘｰﾝ粕）		紙くず（自己処分）		廃ﾌﾟﾗ（自己処分）	
	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）
排出量	1175	1175	0	0	207	150
自己再生利用量	1175	1175	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	203	147
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0	0	0	0	4	3
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	4	3
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	廃ﾌﾟﾗ（ﾗｶﾞｰ粕）		廃プラ類（ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕）		廃プラ類（一般）	
	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）
排出量	215	220	223	200	14	15
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	215	220	223	200	14	15
優良認定処理業者への処理委託量	112	120	223	200	14	15
再生利用業者への処理委託量	103	100	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙3-3

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	無機性汚泥		汚泥（乾電池）		汚泥（泥状なもの）薬品汚泥	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	158	450	0.11	0.1	0.49	5
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	158	450	0.11	0.1	0.49	5
優良認定処理業者への処理委託量	158	450	0	0.1	0.4	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0.11	0	0.09	5
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	木くず		ガラスくず・コンクリートくず陶磁器くず		ガラスくず・コンクリートくず陶磁器くず（グラスウール）	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	51	50	4.2	2.0	2.3	2
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	51	50	4.2	2.0	2.3	2
優良認定処理業者への処理委託量	51	15	4.2	2.0	2.3	2
再生利用業者への処理委託量	0	35	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙3-4

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	一般廃油		廃油（廃ｳｴｽ）		廃酸	
	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）
排出量	4	5	5	3	0	0
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	4	5	5	3	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	4	5	5	3	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	廃ｱﾙｶﾘ		廃酸（pH2.0以下）		廃ｱﾙｶﾘ（pH12以上）	
	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）	実績［ｔ］（R6年度）	目標［ｔ］（R7年度）
排出量	0	3	0	0	0.3	5
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0	3	0	0	0.3	5
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	3	0	0	0.3	5
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙3-5

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	有機性汚泥（清掃汚泥）		がれき類		廃油（試薬）	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	3	3	0	2	0	0
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	3	3	0	2	0	0
優良認定処理業者への処理委託量	3	3	0	2	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	水銀使用製品廃棄物（蛍光灯・水銀灯）		水銀使用製品廃棄物（HIDﾗﾝﾌﾟ）		廃PCB等・PCB汚染物 PCB処理物	
	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）	実績［t］（R6年度）	目標［t］（R7年度）
排出量	0.1	0.1	0.02	0.05	10	0
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.1	0.1	0.02	0.05	10	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0.1	0.1	0.02	0.05	10	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙4-1

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ばいじん	流動媒体の再循環促進。	ﾎﾞｲﾗｰ及び発電機の高負荷操業を継続し、外販電力量の増加及びﾃﾞﾏﾝﾄﾞﾚｽﾎﾟﾝｽへの対応を行っていく計画だが、引続き、固形燃料の品質強化を図りながら、流動媒体の再循環を継続させ、ばいじんの発生量を抑制させていく。
燃え殻	使用する固形燃料の品質調査を行い、投入燃料の品質を加味した上で配分比率をｺﾝﾄﾛｰﾙしたことで、炉内下部温度上昇に伴うﾄﾗﾌﾞﾙの発生を解消したことで炉底灰の排出量が低減した。	固形燃料の品質管理強化の継続及び適正な配分比率を見極めながら、品質不良燃料の混入を未然に防止していくことで流動媒体の炉外排出頻度を抑制し、更に減量化を促進させていく。
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	系内クローズド化による排出量抑制を継続した。	系内クローズド化による排出量抑制を継続
廃プラ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)	処理工程及び消耗品の交換頻度を見直し、粕発生量削減に向けた取組みを行った。	原料古紙納入業者に禁忌古紙に対する啓蒙 消耗品の交換頻度短縮及び定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽの継続
紙くず	処理工程及び処理に伴う消耗品の交換頻度見直しによる粕発生量削減を図った。	消耗品の交換頻度短縮及び定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽの継続
木くず	—	—
廃ﾌﾟﾗ類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸの有価物取引先の開拓。	廃ﾌﾟﾗ類発生量削減及び有価物として取引先の 開拓及び選定の継続
がれき類	—	—
石綿含有廃棄物	—	—
ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず、陶磁器くず	—	—
水銀使用製品 廃棄物	—	—
廃酸	—	—
廃ｱﾙｶﾘ	—	—
廃油	—	—
汚泥（泥状なもの）	—	—
無機性汚泥	—	—

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
ばいじん	—	—
燃え殻	—	—
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	—	—
廃プラ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)	—	—
紙くず	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
木くず	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
廃ﾌﾟﾗ類	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続。 更に分別の細分化を図り、有償または、再利用及び再資源化による用途拡大を意図した取組みを展開する。
がれき類	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
石綿含有廃棄物	—	—
ｶﾞﾗｽくず	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
水銀使用製品 廃棄物	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
廃酸	—	—
廃ｱﾙｶﾘ	—	—
廃油	構内基準に従い分別を行った。	構内基準に従い分別を継続
汚泥（泥状なもの）	再生有効利用先の開拓。	再生有効利用先の開拓継続
無機性汚泥	分別の細分化により、再生有効利用用途拡張。	分別の細分化継続

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ばいじん	—	—
燃え殻		—
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	クローズド化により工程内で再生利用を行った。	クローズド化継続及び系外への排出頻度低減を図る。
廃プラ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)	自製燃料（RPF）の製造し、ﾎﾞｲﾗｰの投入燃料として、ｴﾈﾙｷﾞｰ源に転換する。	作業効率改善に伴う自製RPF品の製造量増産体制の維持継続
紙くず	—	—
木くず	—	—
廃ﾌﾟﾗ類	—	—
がれき類	—	—
石綿含有廃棄物	—	—
ｶﾞﾗｽくず	—	—
水銀使用製品 廃棄物	—	—
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃ｱﾙｶﾘ	—	—
汚泥（泥状なもの）	—	—
無機性汚泥	—	—

別紙4-2

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ばいじん	—	—
燃え殻	—	—
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	適正薬品を選定し脱水効率改善を図った。	脱水効率の向上及び汚泥水分調整による発生量削減
廃プラ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)	—	—
紙くず	古紙原料の管理強化を図り、禁忌品の混入を抑制させていく事で、紙くず発生量の削減を図った	各納入業者への啓蒙及び注意喚起を継続
木くず	—	—
廃ﾌﾟﾗ類	歳三皇帝から発生した廃ﾌﾟﾗの一部を自己処分とした。	古紙原料の管理強化を図り、禁忌品の混入を防止させ紙くず発生量の削減を図る。（各納入業者への注意喚起継続）
がれき類	—	—
石綿含有廃棄物	—	—
ｶﾞﾗｽくず	—	—
水銀使用製品 廃棄物	—	—
廃油	—	—
廃酸	—	—
廃ｱﾙｶﾘ	—	—
汚泥（泥状なもの）	—	—
無機性汚泥	—	—

＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ばいじん	全量委託処理の為、該当しません。	
燃え殻	以下余白	
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)		
廃ﾌﾟﾗ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)		
紙くず		
木くず		
廃ﾌﾟﾗ類		
がれき類		
石綿含有廃棄物		
ｶﾞﾗｽくず		
水銀使用製品 廃棄物		
廃油		
廃酸		
廃ｱﾙｶﾘ		
汚泥（泥状なもの）		
無機性汚泥		

＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ばいじん	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
燃え殻	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃ﾌﾟﾗ類・紙くず (ﾊﾟﾙﾊﾟｰ粕、ｽｸﾘｰﾝ粕)	—	—
紙くず	再生利用可能な処分会社に委託。 一部を自己処分とした。	前年度と同じ取組みを行う。
木くず	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃ﾌﾟﾗ類	一部を自己処分とした。	前年度と同じ取組みを行う。
がれき類	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
石綿含有廃棄物	—	—
水銀使用製品 廃棄物	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
有機性汚泥	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
無機性汚泥	再生利用可能な処分会社に委託。（一部を埋立処分とした。）	前年度と同じ取組みを行う。
有機性汚泥 (ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞ)	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
木くず	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
ｶﾞﾗｽくず	—	—
汚泥（泥状なもの）	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
無機性汚泥	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃油	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃酸	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃ｱﾙｶﾘ	再生利用可能な処分会社に委託。	前年度と同じ取組みを行う。
廃PCB等・PCB汚染物 PCB処理物	再生利用可能な処分会社に委託。	PCB特措法に則り、高濃度、低濃度PCB及び汚染廃棄物処理完了